

令和 4(2022) 年度指定管理鳥獣捕獲等事業評価報告書

(ニホンジカ)

福島茨城栃木連携捕獲協議会

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名	令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定等事業 (生息状況調査)		
	令和4(2022)年度効果的捕獲促進事業 (福島茨城栃木県境地域広域捕獲計画に基づく捕獲)		
都道府県名	福島県、茨城県、栃木県	担当者部・係名	栃木県環境森林部自然環境課野生鳥獣対策班
担当者名	郡司	担当者連絡先	TEL 028-623-3261
捕獲実施事業者	株式会社野生動物保護 管理事務所 (認定を受けている・ 受けていない)	予算額	39,902,170円
		予算額の内捕獲に 要する経費	29,998,870円

○令和4(2022)年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み
〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
捕獲目標頭数 30 頭	15 頭	50%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)

○これまでの個体群管理の取組み(都道府県単独事業)

2. 令和4(2022)年度福島茨城栃木県境地域広域捕獲計画に基づく捕獲の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>八溝山を中心とする福島県、茨城県及び栃木県の三県境地域は、古くから知られた良質なスギ・ヒノキの産地であるとともに、ブナ・ケヤキ・ミズナラ等を中心とした天然林も分布し、これまでニホンジカの生息・被害は確認されていなかった。</p> <p>しかし、近年、三県境地域においてニホンジカが確認されるようになり、当該地域にニホンジカが定着した場合、農林業被害が危惧されるだけでなく、天然林も含めた自然植生が被害を受ける可能性がある。</p> <p>このため、福島県、茨城県及び栃木県は、三県境地域におけるニホンジカ対策を推進することを目的として、令和元年度に福島茨城栃木連携捕獲協議会を設立し、糞塊密度による生息状況調査に取り組んだところ、東北道以西及び八溝山周辺において、比較的高い糞塊密度となったメッシュが認められた。</p> <p>このようなことから、広域捕獲計画を策定し、令和2年度から捕獲に着手した。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	<p>令和4(2022)年7月20日～令和5(2023)年3月20日 (うち捕獲を行う期間：令和4(2022)年8月15日～令和4(2022)年12月2日)</p>
実施区域	<p>①八溝山周辺 ②東北自動車道以西(那須岳東側)</p>
関係機関との協力	<p>関係市町及び利害関係者の賛成を得て事業を実施している。</p>
事業の捕獲目標	<p>(50%達成) = (15頭 実績値) / (30頭 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他(捕獲個体の止めさし)</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな(ICT)</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部(尾)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(捕獲個体に通し番号をスプレーし撮影)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(忍び猟については目視確認)</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。</p> <p>(内容：くくりわなの構造に関する対策)</p>

	<p>※輪の直径が12 cm以内で、締付け防止金具を装着したものであり、ワイヤーの直径が4 mm以上であって、かつ、よりもどしを装着</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	表示板等により注意喚起を行った。
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数：8人 (内訳)</p> <p>正規雇用者：8人、期間雇用者：0人 日当制：0人</p>

3. 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点	
【目標達成】	<p>評価： 目標達成率は50%であった。那須岳東側におけるくくりわなで11頭捕獲したものの、囲いわなでは捕獲できなかった。また、八溝山周辺における忍び猟では4頭捕獲した。目標を達成できなかった原因としては、くくりわな、囲いわな設置区域においては、定着している群れが少なく誘引餌で継続的に誘引される個体がなかったこと、忍び猟実施区域においては、個体数が少なく、一時的な痕跡の確認にとどまったこと等が挙げられる。</p>
	<p>改善点： 誘引方法やくくりわなの設置箇所、実施時期等を見直し、捕獲頭数の上積みを図る必要がある。</p>
【実施期間】	<p>評価： ニホンジカの季節移動や地理・気象条件等を考慮し、効率的に捕獲できる夏期～冬期に実施しており、適切と思われる。</p>
	<p>改善点： 特になし。</p>
【実施区域】	<p>評価： ニホンジカの新規新入地であり、今後の生息拡大が懸念される地域であることから、適切と思われる。</p>
	<p>改善点： 特になし。</p>
【捕獲手法】	<p>評価： 生息密度が比較的高い那須岳東側でのわな猟、生息密度が低い八溝山頂周辺での忍び猟は、観光客等に対する安全の確保や生息密度を考慮した適切な捕獲手法と思われる。</p>
	<p>改善点： 特になし</p>

2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評 価： 捕獲従事者について、必要な人数を確保するとともに、2名以上の体制で安全に捕獲を実施しており、特段の問題はないと思われる。
	改善点： 特になし
【個体処分】	評 価： 捕獲個体は、掘り起こし防止措置を講じた上で現地に埋設しており、問題はないと思われる。
	改善点： 特になし
【環境配慮】	評 価： 銃猟に関しては、猛禽類等への鉛中毒を防ぐため、非鉛製銃弾を使用した。わな猟に関しては、止めさし作業において銃弾を使用することはなかった。また、錯誤捕獲があった場合にはイノシシを除き原則放獣することとした。
	改善点： 特になし
【安全管理】	評 価： 表示板等による注意喚起等の安全対策を講じており、事故の発生や地域住民からの苦情もなく、適切に実施した。
	改善点： 特になし
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
評 価： 福島茨城栃木連携捕獲協議会として3回目の捕獲となり、昨年度よりも関係機関との連携、情報共有が強化された。	
改善点： 特になし。	
4. 全体評価	
<p>令和4（2022）年度は、福島茨城栃木連携捕獲協議会として3回目の県境地域における捕獲を実施した。</p> <p>那須岳東側のくくりわな猟は、繁殖や季節移動によりシカの活動量が増加した期間に集中し、捕獲効率が低下したため、捕獲適期にわなの稼働台数を増加することで、捕獲効率を向上できると考えられる。囲いわな猟では、誘引された個体が移動途中である場合、継続して誘引される見込みは薄いため、群れの順化を待たずに扉を作動させた方が捕獲効率を向上できると考えられる。八溝山周辺の忍び猟では、過年度からの現場知見の蓄積や捕獲体制の適切化を図ったことで、初めて捕獲成果を上げることができた。過年度の経験に基づく予想通り、夏季や秋季に目撃効率や捕獲効率が高かったため、早い時期に努力量を集中させることで、さらに捕獲頭数の上積みを図ることができる。</p> <p>捕獲の実施体制については特段の問題はなく、安全かつ適切に事業を実施できたと考えられる。</p>	

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業による捕獲頭数は15頭であり、令和4(2022)年度の捕獲頭数13,126頭の0.11%程度であるが、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲目標(8,000頭)への上積みに寄与した。

なお、福島茨城栃木連携捕獲協議会で実施した生息状況調査や捕獲の情報を共有することにより、構成県の指定管理鳥獣等捕獲事業の捕獲強化に寄与した。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域(都道府県・市町村)ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点(緯度経度) <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	忍び猟のみ
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟: のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟: わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日: 捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数^{※1}：104 人日

事前調査人日数概数^{※2}：0 人日

出猟（捕獲作業）人日数：104 人日

項目	令和 4(2022)年 (事業年度の値)	令和 3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	104 人日	40 人日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}：146 人日

事前調査人日数概数^{※2}：0 人日

出猟（捕獲作業）人日数：146 人日

項目	令和 4(2022)年 (事業年度の値)	令和 3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数 (わな基×日数)	2,210 基日	681 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4(2022)年 (事業年度の値)	令和3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	4 頭	0 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	19 頭	3 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	% (頭/ 頭)	% (頭/ 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	% (頭/ 頭)	% (頭/ 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	4 頭	104 人日	0.038 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0.183 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE=目撃数/のべ人日数

① わなによる捕獲

項目	令和4(2022)年 (事業年度の値)	令和3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	11 頭	9 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	45% (5 頭/11 頭)	44% (3/9 頭)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	36% (4 頭/11 頭)	22% (2 頭/9 頭)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※ ¹	CPUE※ ²
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	11 頭	2,048 基日	0.006 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	0 頭	162 基日	0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 2人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体

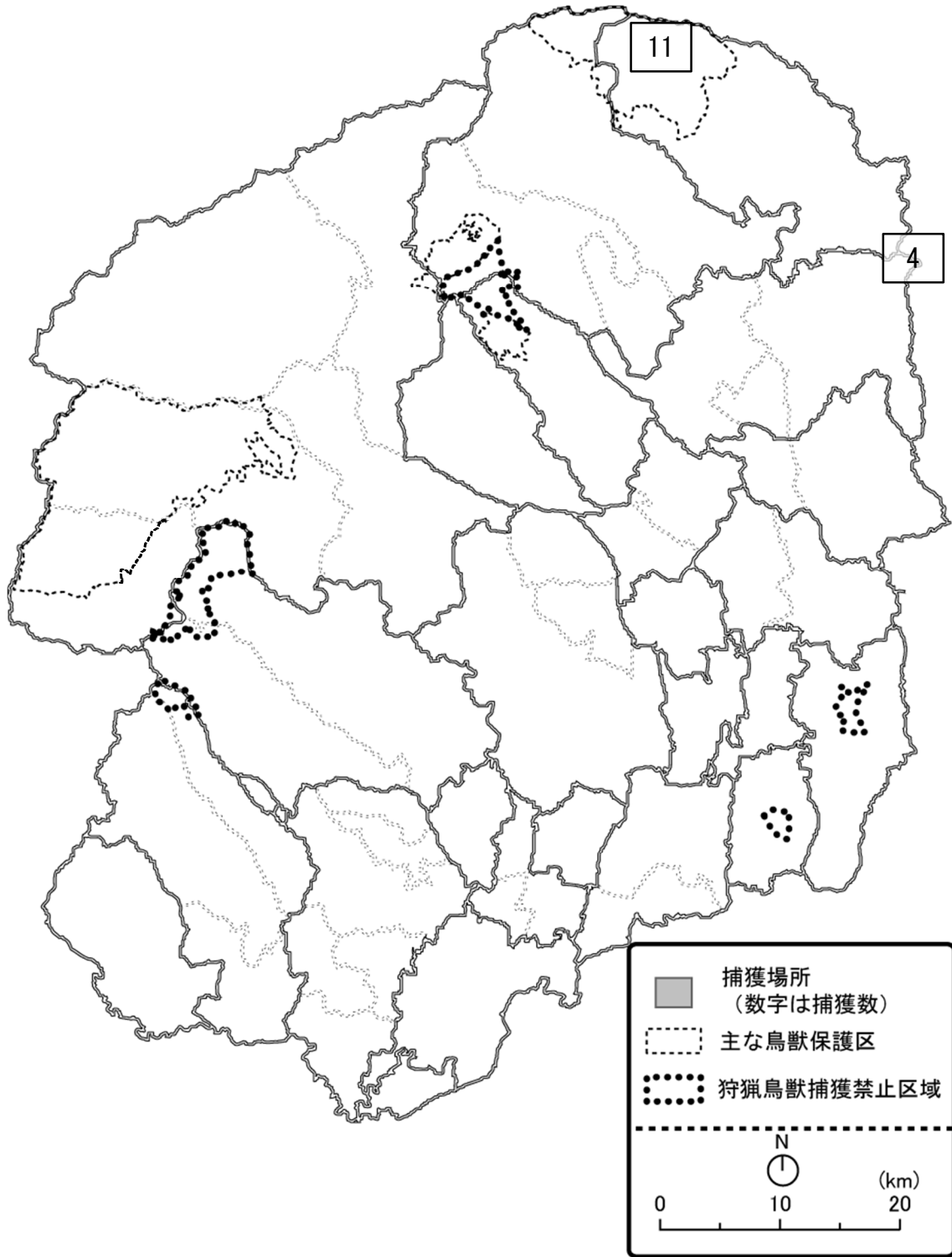
適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

わな猟によって捕獲した個体について、捕獲個体の写真（通し番号をスプレー）及び尾により捕獲個体を確認した。

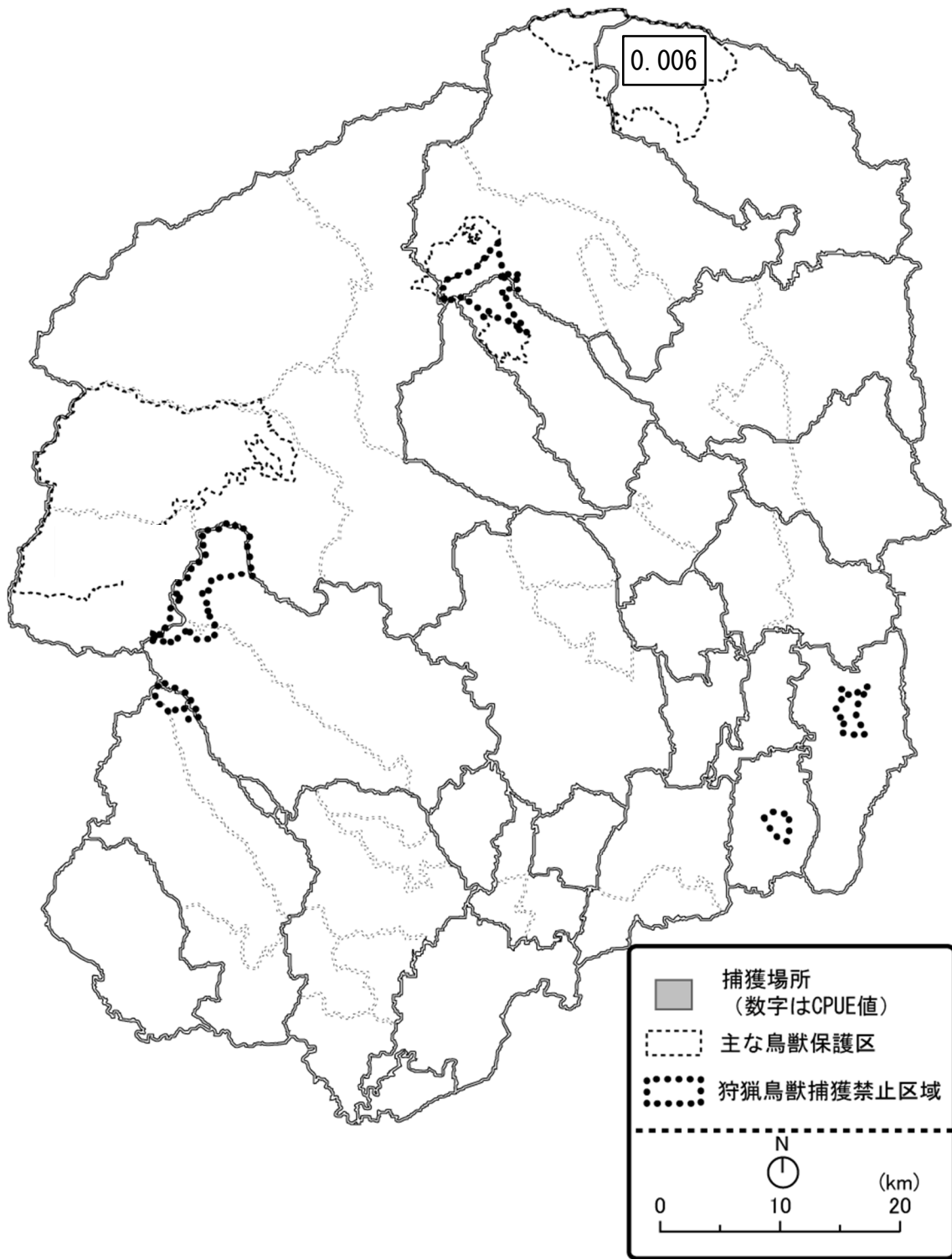
(別添)

捕獲に関する概況地図（ニホンジカ）

- | | | |
|-----|------------------------|-------------|
| 図－1 | 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 | 捕獲位置 |
| 図－2 | 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 | CPUE（くくりわな） |
| 図－3 | 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 | CPUE（囲いわな） |
| 図－4 | 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 | CPUE（忍び猟） |



図一 1 令和 4 (2022) 年度指定管理鳥獣捕獲等事業 捕獲位置



図一 2 令和 4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE (くくりわな)

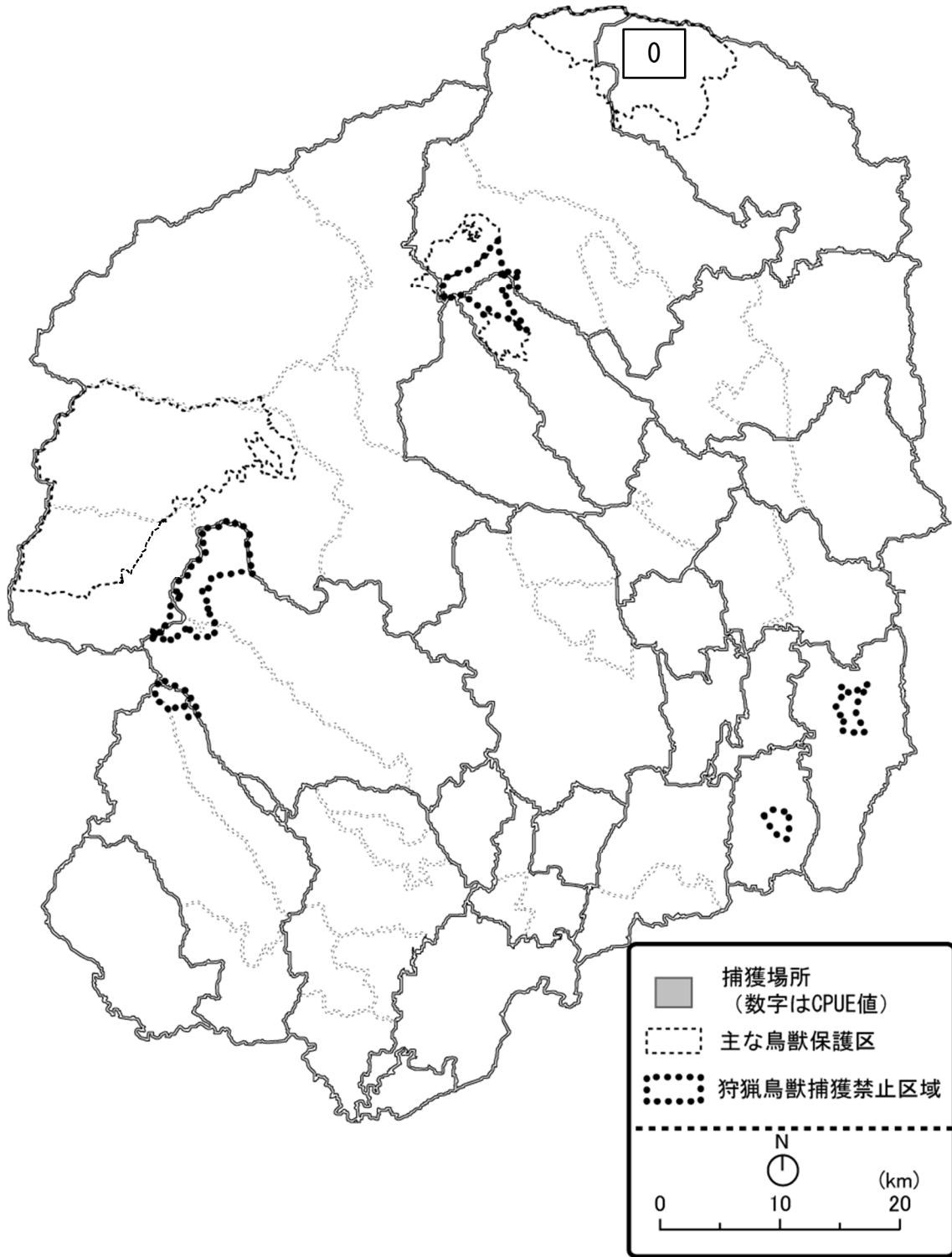


図-3 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE (囲いわな)

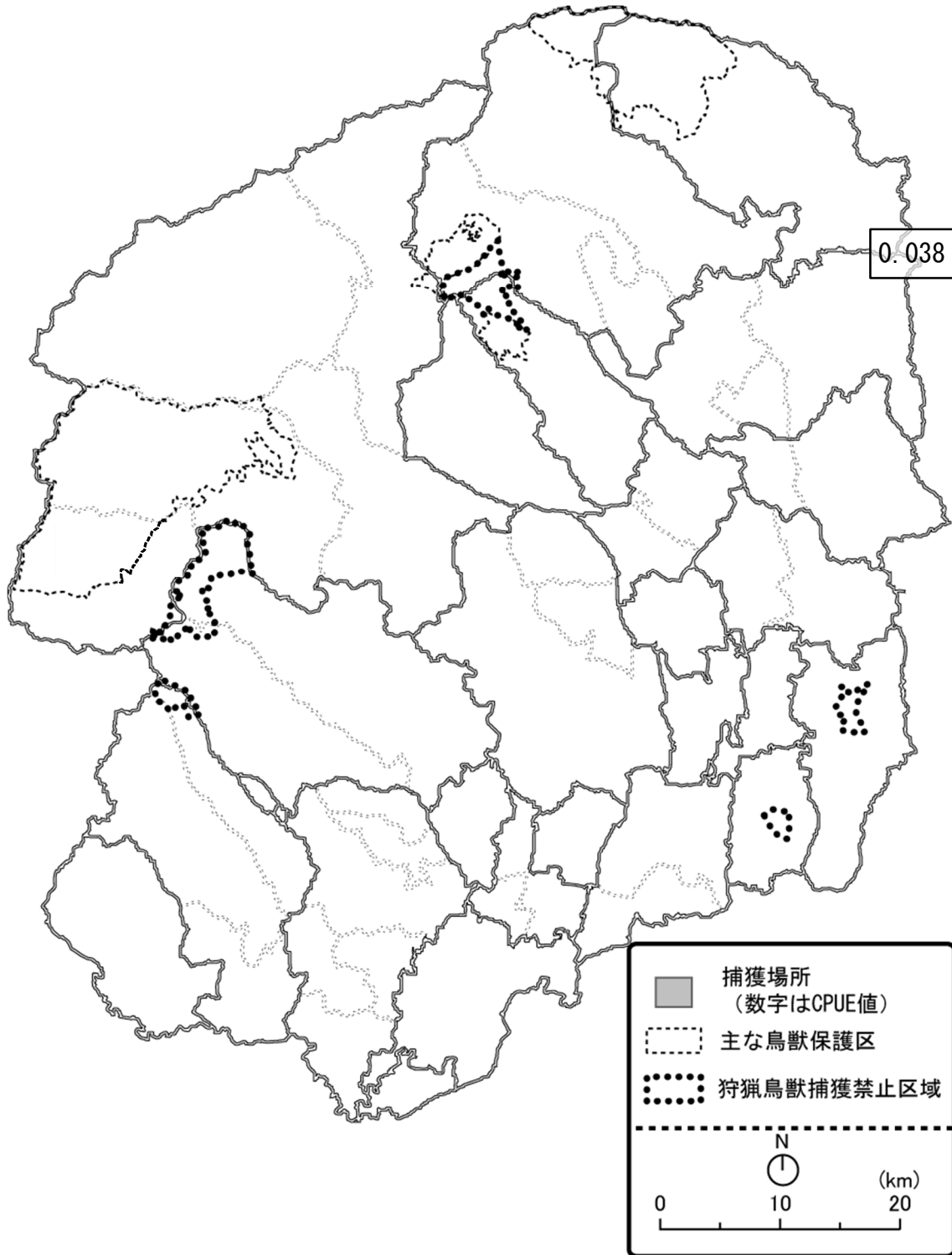


図-4 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE(忍び猟)